



山形県の古木・名木 No.114

小野曾の千本杉 (おのそのせんぼんすぎ)

飽海郡遊佐町小野曾

遊佐町役場の北方、鳥海ブルーライン沿いの小野曾に生育している古木・名木というよりは珍木です。スギの巨樹で地上3m辺りから無数に枝分かれしており、千本もあるように見えることから千本杉と呼ばれるようになったといわれています。

「千本杉」と呼ばれている似たような枝分かれしたスギは、兵庫県や奈良県など他県でも見られますが、これほど見事に細かい枝によってほうき状に樹形が形成されているものは、非常に珍しく、一見の価値があります。

幹周は4m、樹高24mとそれほどビックリするような大きさではありませんが、突然目の前に現れると、何とも言えない不思議な感情に襲われます。樹齢は推定400年で、昭和49年10月に町指定天然記念物に指定されています。

〔山形県森林協会〕

〔森林やまがた No.144号(2013年1月)掲載〕

